

泉 いずみ

―目次―

表紙「丹精した菊華」

住職「百折不撓」

連載「ハヤブサ物語24」完結

野呂ファミリー通信⑤ 完結

愛西市の自治を問う⑤ 完結

連載「私の出会った神様たち⑦」

母の死とビー玉②

さとのりの知恵を読む33 「偏った見方」

掲示板・お知らせなど



色どりは 夫婦の月日 菊の家 博子



カラーで見た方は安泉寺ホームページからご覧ください

急に寒くなり、秋を通り越し冬の到来を思わせる気候が続いていますね。風邪など体調はいかがでしょう？コロナも心配ですが、インフルエンザの季節になりました。併せて気をつけていかなければなりませんね。

さて、仕事において、様々な問題、課題に向き合っていて、切磋琢磨されている方々が多いのではないのでしょうか。私も同じです。色々な相談を受ける中で、やはり全てに共通するのは、人間関係における悩みというか問題ではないでしょうか。思いや理由は様々で、同じ場所働いて、どうしても顔を向き合わせなくてはならない環境で、上手くやろうと思えば思うほど、上手くいかないことが続くと思えるし、苦しさから逃れようと、上手くいかない矛先を相手や他者に向けてしまう。自分は間違っていない！分かってくれない相手が悪いんだ！と。こんなに私は考えているのに、やっているのに、誰も見てくれない。分かってくれない。評価してくれない。だったら、もう分かってくれる、認めてくれる環境に変えてやる！と仕事を辞める。そんな思いって仕事や人生において経験ありませんか？

私も同じような経験もあるし、同じように思いながら働いている仲間もいることだと思っています。では、どうしたらこの苦しみや悩みから解放されるのでしょうか？それは私にも分かりません。正解がないよな、でも、こんな辛く苦しい時間が長く続くと思うと、答えが欲しいって思っちゃいますよね。ただし最近、色々な人から相談を受けるたびに、同じような感情が沸き上がってくるようになりました。それは、誰かを責める時、誰かの責に帰すような思いが強い時、それって、本当に「自分が正しい！分かってくれない相手が悪い」って思っているのでしょうか。

逆に、きつと、相手を責める前に自分を責めているのではないかと。でも、他人から、外の世界から自分を責められたくないから致し方なく相手を責めているんじゃないかって思います。だから、実は相手を攻撃しているんじゃないかって自分に對して攻撃している。でも、防衛本能が発動し反射的に矛先を相手に向けているのかなあと感じたりします。かなり前ですが、重度の障がいのあるお子さんを持つ母親が、幸せでしようがないって感じておられるエピソードを紹介しました。一昔前、障がいは育て方、躰の問題とか言われている時代、誰も助けられなくなりました母親が、この子を一人で育てていこうと決心したが、どうにもならなくなると我が子に手をかけようとした時に、ハッとしたのと同時に何か癒される感覚になったと。「私はこの子の母として完璧な母親にならなければって思いすぎて、逆にこの子を苦しめていた。でも、どうしようもなくなるとこの子の首に手をかけた瞬間に、私は完璧でもなんでもなく、こんなに弱い、何も出来ない人間なんだと思ったら、逆に気持ち楽になりました。お互いそのままが良い。そのまま。そう思うと、幸せだなって感じます。」というお話です。心の豊かさを考えさせられます。親鸞聖人は次のような和讃を残されています。紹介して続きは次号で。

外儀（げぎ）のすがたはひとごと
賢善精進（げんぜんしょうじん）現ぜじむ
貪瞋邪偽（とんじんじゃぎ）おおきゆえ
奸詐（かんさ）ももはしみ（身）にみてり

悲歎述懐和讃より

いのちのはめぐりめぐって

また戻ってきます

還

浄土に行っても先祖は

この世にまゐりもどり、私達によびかけ
ています。精一杯生きなさいと。

◆いよいよ僕の話も最終回を迎えた。みんな、よく読んでくれたね、ありがとう。◆涅槃とは「炎が吹き消された静寂な状態」のこと。悟りを得た清浄な世界を言うのだ。そこでは、あらゆるものがそのまま完全な姿で存在し、煩惱はない。◆僕が満足して燃え尽きた世界も涅槃だ。お釈迦様がたどり着いた最高の境地でもある。◆さて、おしまい。◆みんなに宮沢賢治の言葉を送ります。「まず、もろともにかがやく宇宙の微塵となりて、無方の空に散らばろう」◆無方とは、「あらゆる方向」という意味だ。僕のために無方の空に電波を送り続けてくれたスタッフの皆さん（阿弥陀さん）、本当にありがとう！
(完)

最終版をお届けします。今後も野呂ファミリーのことを心にかけて、応援したいと思います。

信正寺の主な行事予定

- 6月11日 特別永代経 招待講話
- 9月6、7日 信正寺報恩講
- 9月23日 秋期彼岸永代経

真宗大谷派 安泉山 信正寺

〒098-2802

中川郡那賀川町字中川381番地

電話 016561712138

振込口座 北星信用金庫 中川支店、

普通預金 005 0961021

信正寺護持会 代表 野呂雅彦

編集後記

今回、特集として「信正寺」支えてくれるYさんを紹介しました。我々は大きな転換しなければなりません。最大のテーマは「動」です。動かなければ何も事は起きません。中川は過疎ではあるが「心」まで過疎になることはないのです。今、私たちが生かされているのも両親のお陰です。両親に感謝なくして、子供、孫から感謝されることはないのではないのでしょうか。

私は、今回紹介した母親の「遺言」をいつも思い起こしています。

紙面の目的は、家族が交流できればという目的から創刊したものです。小さな水滴も溜まれば、いつかは大海になるのです。そんな思いで、皆様と一緒に本書を続けていければと願っています。

安泉寺の住職(前)の野呂美道様には、父新吾との縁を大切にされ、信正寺に対して深く慈愛の心で心配をさせていただいております。(感謝)

皆様へのお願い

1、皆様の近況を原稿に紹介させてください。

どんな些細なことでも構いません。近況報告、幼少期の思い出など・・・期限11月30日まで

送付先・・・手紙またはメールで送付してください。野呂 敏彦まで

メールアドレス t-noro@nbc-consul.co.jp

2. 写真ありませんか。

昔の写真ありませんか。懐かしい思い出を皆様と共有化したいのです。



冬の本堂・・・厳寒の地



次女(七) 千里

千里姉は、太陽のように明るく、親のように優しく、母の晩年をお世話していただきました。<合掌>

出前講座の反応

◆私たちは終了後必ず、生徒や親たちに感想を含めたアンケートを頼んだ。その中の感想文を二つ紹介したい。◆弟の資料を読み、内容を知った。以前自分が講座を受けた時は、自覚がなかったけれども、選挙権を得た今、自治についての興味かわいた。この先、この地で暮らしてゆくために、若い世代の私たちは、真剣に市の未来について考えていかなければと強く感じた。◆この生徒は、弟が講座を受けた時に、条例の目指すものに出会ったのだ。◆妹に話したところ、「子どもにも市民としての権利があるんだね。」ということも言っていました。一見、市政には大人の意見しか反映されなさそうですが、子どもも市民の一人であるということを確認しました。それに伴い、市民として果たさなければならぬ義務もあると思います。とはいえ、子どもの方では果たせないこともあります。「それでも地域の行事に参加するならできるよね。そういうものを知った際には是非行ってみようね。」と家族で話しました。また、「こういう取り組みに自ら参加している高齢者の皆さんたちはすごいね(同情ありがとう!)」。

◆子どもたちはストレートに話を受け止める。権利と義務、そして具体的な活動と、子どもたちの動きは実に素早く、良い意味で直感的に考え行動する。大人は色々考えすぎて全然動かない。(動こうともしない。)

条例の目指すもの

◆私は自分の住む愛西市が、住みやすい町になることを第一に考える。地域の住民が力を合わせて、慈しみのある町づくりをするのが理想。そのための方針となるのがこの条例であってほしい。◆行政がやってくれないと嘆くのではなく、自分たちでできることを話し合い、楽しく暮らしていく町であってほしい。そのため行政は私たちが活躍する場所と時間を保障してほしい。思いを聴いてほしい。◆お金じゃなく、行政は地域の自治のために汗を流してほしい。私たちができることを育み後押ししてほしい。そのため知恵を絞り、工夫を重ね、子孫がこの町を誇りに思えるように、市民と共に力を出し合ってほしい。

(完)

母の死とビー玉②

◆そのとき僕は小さかったもので、なぜビー玉が戻ってこないのか分からなかったのです。ビー玉までが向こうの味方をして、こちらが一生懸命母を呼びだそうとしたのに戻ってこないことを非常に悲しく思いました。そこで思い切り泣いたことを、何十年も経ったその日、我が家の昔の離れの前に立って、思い出したので。◆ふと見ますと、まだ戦後間もない頃ですから、といが当時のままで残っていました。今なら新しく取り替えてしまうところですから、とも部分的に直して使っていたのです。昔のまんまの部分もあることが分かったのです。◆僕は急に胸がどきどきしてきました。「はしごを貸してはいただけませんでしょうか。」僕は奥さんをお願いしました。はしごをかけ、自分で上って行って、といの中を手で探ったのです。中には泥やら色んなものがいっぱい詰まっています。探しましたら、たった一個だけ赤いビー玉が出てきたのです。それを奥さんをお願いして、どうか下さいと申しました。奥さんにとっては何でもない物かも知れないけれど、僕にとっては非常に大事なビー玉でありました。◆あとでもお話しますけれど、僕は親からは何ももらってはいないのです。形見などというものは

は一切もらっていないのです。ですから、母を偲ぶよすがもなければ、父を偲ぶよすがもありません。ビー玉だけがこの家にあつたものです。僕がこの家の子供であり、ビー玉を投げた本人だという証拠のように、赤いビー玉が出てきたのです。これは僕の宝物です。◆こういうお話をするときにはそれを持ってきて見せるのが普通ですね。でも僕はそっかしいものですから、もしどっかできなくしても困るものですから、持ってこないのです。ちゃんとふくさに包んで引き出しにしまつてあります。(笑い)◆僕は今思うのです。この赤いビー玉が一個残っていたといことは何なのだろうか。いつか僕がその家を訪ねて行って、そのビー玉を見つけるといふことを、母が天国のほうで知っていて、たった一個だけでも僕が取りに来るまで、母が守っていてくれたのではないかという風に考えたものでございます(続く)



◆ものが平等であって差別のないことを空（くう）という。ものそれ自体の本質は、実体がなく、生ずることも、滅することもなく、それは言葉でいい表すことができないから、空というのである。すべてのものは互いに関係して成り立ち、互いによりあって存在するものであり、ひとりで成り立つものではない。◆ちょうど、光と影、長さや短さ、白と黒のようなもので、ものそれ自体の本質が、ただひとりであり得るものではないから無自性という。◆また、迷いのほかにさとりがなく、さとのほかに迷いがない。これら二つは、互いに相違するものではないから、ものには二つの相反した姿があるのではない。「楞伽經」より」

◎この世には実体のあるものがない

◆「空」というのは古代インドの言葉でシュニヤといい、数字の（ゼロ）のことです。これはインド人が発見した数学の概念で、このゼロがあることによって、プラスやマイナス、十進法といった考え方ができました。◆そして、この「空」はただのゼロではなく、根源的なものあり方をも意味します。◆「空」の世界では、あらゆるものは平等であって、本質的には実体がありません。そして、この「空」の世界こそが、生じては滅するわたしたちの世界そのものなのです。◆わたしたちはその中で対象を区別し、ときにはそれに執着して苦しみますが、その執着の対象は

実体がなく、もともと仮構にすぎません。◆たとえば、公園の噴水はどうでしょう。いつも吹き出ている水は、一瞬ごとに異なりながら、とどまることなく流れ出ています。これは、私たちの命と同じです。噴水が水の噴出を続けることで、変化しながら一つの連続した姿をとっているように、わたしたちの命も変化しながら一人の「私」を作っています。◆水の圧力がなくなれば噴水は停止するように、命が尽きればわたしたちもそこで終わります。わき水のような小さな噴水や、大きな勢いで吹き出る噴水など、わたしたちはさまざまな噴水を区別していますが、実際はすべて水にすぎません。◆このように、すべてに実体はないのに、さまざまなことに固執するわたしたちのものを見方を戒めるのが「空」という視点なのです。◆ブツダは、実体にこだわりつづけることのむなしさに早く気付くよう、わたしたちに教えてくれています。



十二月の行事予定

おみがき 四日(土)

ハザード会 五日(日)

文芸クラブ例会 九日(木)

報恩講速夜(たいや) 十一日(土)

報恩講満日中 十二日(日)

除夜の鐘 三十一日(金)

今月の掲示板

無関心が人を殺す

国境なき医師団 ドミニク・レギュイエ

◆中日新聞十一月二十八日・日曜版をご覧ください

訃報

◆平岩 茂夫さん 早尾町 享年七十八才
*お寺で心のこもったお葬式をいたしました。

お知らせ

◆安泉寺に墓地のある方は管理料二千円をお支払ってください。

◆本山冊子「真宗の生活」をお読みください。

編集後記

◆今年の報恩講もオンラインで生中継をします。別紙チラシか安泉寺ホームページに情報を掲載しております。(住職)

◆来年から、新たな記事に挑戦します。継続するのは「百折不撓」と、西村滋氏の講演録と、「さとのりの知恵を読む」です。

◆地質学者の森勇一先生の「ゼロメートル地帯の地学」と題する講演を聞きました。愛西市はじめ濃尾平野南西部は全国最大のゼロメートル地帯です。液状化のリスクが最も高い、災害の危険地帯でもあります。防災を進めなければと痛感しました。

◆この夏から秋にかけて、お米・野菜・果物・寄附金など、おやつクラブへの支援物を沢山いただきました。感謝いたします。食料を無駄なく使うのはSDGsにかなう活動だと思えます。これからも宜しくお願いします。(老僧)

◆Kさんからの絵手紙は来月号に掲載します。

あんせんじ
真宗大谷派 安泉寺

報恩講

日にち 令和3年12月12日(日)

時間 10時00分～12時00分まで

場所 安泉寺

講師 松林 至 (西岸寺住職)

日程

- 6:00 晨朝法要
- 10:00 満日中法要 (登高座)
- 10:45 法話 (2席)
- 12:00 解散 (*お弁当配布)

当日は↓よりオンライン配信

トピック: 報恩講

時間: 2021年12月12日 09:30 AM 大阪、札幌、東京
Zoomミーティングに参加する

[https://us02web.zoom.us/j/89994738759?
pwd=RjVTVWhkycnRyNOpEVkNkbp6UDJJZz09](https://us02web.zoom.us/j/89994738759?pwd=RjVTVWhkycnRyNOpEVkNkbp6UDJJZz09)

ミーティングID: 899 9473 8759

パスコード: 628592

安泉寺

駐車場あります

参拝される方は、感染防止のためマスク着用をご協力お願いします。



住所: 愛西市三和町中ノ割173 安泉寺

あんせんじ
真宗大谷派 安泉寺

除夜の鐘

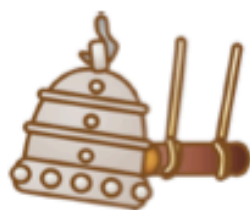
日にち 令和3年12月31日 (金)

時間 23時45分～1時頃まで

場所 安泉寺

新年はお鐘をついてお寺で迎えよう！！

本堂内で



お菓子の掴み取り！



温かいおぜんざいあります

安泉寺

駐車場あります

コロナ感染状況により、中止や縮小となる可能性もあります。感染防止のため、マスク着用をご協力お願いします。



住所：愛西市三和町中ノ割173 安泉寺